

事業提案概要書

法人の名称：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

1－（1）管理運営に対する基本方針

- ① 公の施設であることを念頭に置いて、公平な運営を行うこととし、特定の個人や団体及びグループに対して、有利あるいは不利になるような取り扱いを行わないよう努めます。
- ② 施設設備及び備品の維持管理を適切に行い、常に利用者が安全、快適に利用できる環境を維持するよう努めます。
- ③ 利用者の利便性を考慮した管理運営を行うとともに、効果的な集客活動等を展開し、利用者数の増加に努めます。
- ④ 事業計画書に基づいて適正に予算を執行するとともに、効率的かつ効果的な施設の管理運営を行い、経費の縮減に努めます。
- ⑤ 地域住民、行政、公共団体及び他の施設と協力・連携を図るよう努めます。
- ⑥ 『宮崎市老人福祉センター条例および条例施行規則』『宮崎市青少年プラザ条例および条例施行規則』をはじめ、各関係法令を遵守いたします。

1－（2）市民の平等な利用の確保

- ① 市の広報紙・地域の情報誌等の活用
- ② 関係各所への案内の配布・掲示
- ③ SNSの有効活用

1－（3）要望、意見、苦情への対応

問題の沈静化

- ・一次対応：じっくりと相手の話を聴き、状況を正確に把握します。
- ・二次対応：苦情の根本原因を把握し、再発防止のために改善策を検討します。
- ・早急な対応：何よりも迅速な対応が大切であります。

2－（1）利用者サービスの向上に関する提案

利用者のサービス向上には、まず、「また行きたい」と思える施設であるべきだと考えます。リピートして頂ける利用者の確保は、新規来館者の増加に直結し、来館時の接客サービス水準が低いものであれば次回の来館は見込めないでしょう。その為にも高い水準での「接客サービス」が重要と考えます。

- ① 接客研修の徹底
- ② セルフモニタリングによる PDCA サイクルの継続運用
- ③ 礼節・マナー、クレンリネスの向上（5S活動）
- ④ 社内事前研修

2－（2）利用者の増加を図るための取り組みに関する提案

- ① インターネット・SNSの有効活用
- ② 自主事業の設定

<p>2－（3）施設の設置目的の理解と課題の認識</p> <p>設置目的：老人の福祉の増進を図るとともに、勤労青少年の福祉の増進及び職業の安定を図るとともに、市民の多目的な利用に供する。</p> <p>施設課題：福祉の拡充・健康増進 職業安定の促進</p> <p>コロナウイルスによる「新しい生活様式の導入」</p>
<p>2－（4）設置目的に沿って施設の効用を最大限に発揮できる提案</p> <p>① 健康増進の為の講座開設</p> <p>② 主催講座・研修会の提案内容</p> <p>③ 相談業務の対応策</p>
<p>3－（1）指定期間に市が提案する指定管理料に対する提案額</p> <p>① 市が支払う指定管理料の基本的な考え方</p> <p>指定管理料は、本指定管理事業を運営していく上でお預かりしている財産と捉え、外注業者については宮崎ビルサービス株式会社様を予定し、各消耗備品についても市内業者利用により、地域活性に貢献してまいります。</p> <p>② 青少年プラザ利用料金の設定</p> <p>③ 管理業務の効率化と経費の縮減に関する考え方・提案</p> <p>◆経費縮減について</p> <p>◆新電力の導入</p>
<p>4－（1）人的体制の確保</p> <p>当施設管理運営において、責任者および副責任者を配置し、指揮命令系統を明確にいたします。副責任者は責任者が不在の時、責任者代行として業務を行います。人員配置は、老人福祉センター開館時は4名体制を基本とし、夜間については、2名体制を基本とします。ローテーション制を取り入れることにより、急な欠勤等の対応についてもフォローが可能となります。また、有休休暇取得等、労働基準法に則した人員確保をお約束いたします。</p>
<p>4－（2）職員の能力育成</p> <p>① 入社時研修</p> <p>② 現場研修</p> <p>③ ブラッシュアップ研修</p> <p>④ ステップアップ研修</p> <p>⑤ 個人情報保護研修</p> <p>⑥ 責任者研修</p>
<p>4－（3）事業計画の実現可能性</p> <p>① 地域や関係機関及びボランティアとの連携について</p> <p>② 市との連携について</p> <p>③ 地域や利用者のニーズ把握</p>

4－（４）申請者の安定性、信頼性

弊社は昭和 61 年 11 月設立、地方創生の担い手として、給食事業・図書館事業・寮保養所事業・施設管理事業等の受託運営を続けてまいりました。

平成 28 年 10 月には、資本金を 100,000 千円に増資しており、平成 31 年度売上高は 27,370,726 千円となりました。

また弊社グループは、生きることを幸福につなげる「人と人との絆」を支え、真心を込めて世の中の「大切なこと」を提供しつづけ、社会へ貢献したいと考える企業であり、今後、人々の健康で幸福な人生を実現するために必要な「運動・栄養・休息・心・美」の事業領域を持ち、事業活動を通じて、さまざまな社会問題を解決してまいります。

◆個人情報保護対策について

- ① 個人情報保護対策について
- ② 個人情報保護の管理者の設置
- ③ 個人情報保護のための社員教育
- ④ 個人情報の取得、利用及び提供について
- ⑤ ウェブページからの個人情報の収集について
- ⑥ 個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正について
- ⑦ 苦情及び相談への対応について
- ⑧ 法令等の遵守について
- ⑨ 個人情報保護マネジメントシステムの見直し

5－（１）災害や不審人物の対応など危機管理に対する対応

- ①自然災害（地震、火災など）不審者等への対応
- ②緊急事態発生時の体制図
- ③地震等の災害に対しての避難訓練等について
- ④③の他、利用者の安全確保を図る為の対応、時間外での対応等

5－（２）衛生管理に関する対応

- ①レジオネラ属菌発生防止等の対策
- ②新型コロナ・インフルエンザ・ノロウイルス等感染症の感染拡大防止体制

6－（１）雇用に対する基本的な考え方

- ①現行職員の積極的な採用
- ②地元雇用
- ③専門企業との連携
- ④社内紹介制度

7－（１）環境に配慮した施設管理

- ・環境に配慮した管理運営
- ・低コストで高品質なサービスを提供する管理運営

7－（2）障がい者の就労支援への対応

弊社では障がい者雇用の専門部署を設置しており、積極的に採用をしております。

また、就労前に事前に就労体験を実施。また、ハローワークとも連携し、業務に適正のある方に就労体験いただくよう努めます。